

| 技能                | 単元<br><br>資質・能力                   | 実施時期 |     |     |     |      |     |     |     |      |      | 質的ルーブリック（判断基準）                          |   |  |
|-------------------|-----------------------------------|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|------|---|---|--|
|                   |                                   | 1 学期 |     |     |     | 2 学期 |     |     |     | 3 学期 |      | 考え・基礎知識<br>(Ideas)                      | つながり<br>(Connections)   | 応用・ひろがり<br>(Extensions)  |
|                   |                                   | L 1  | L 2 | L 3 | L 4 | L 5  | L 6 | L 7 | L 8 | L 9  | L 10 |   |   |  |
| 話すこと              | 日常生活の話題について英語で話することができる。          | ◎    |     |     | ○   | ○    | ◎   |     |     | ○    |      | 義務教育段階の単語や表現を用いて話することができる。              | 義務教育及び高校 1 年次段階に習得した単語や表現を用いて話することができる。                               | 既習の定型表現を応用して、様々な場面や状況に応じて話することができる。                                |
|                   | 英語を適切に発音することができる。                 |      | ○   |     |     |      |     |     | ○   |      |      | 義務教育段階に習得した単語であれば、単語レベルで正しい発音をすることができる。 | 義務教育段階及び高校 1 年次段階で習得した単語を含む英語を文レベルで正しいリズムやイントネーションなどの特徴を捉えて話することができる。 | 相手の発話に対して適切に対応することができる。  |
|                   | コミュニケーションを継続できる。                  |      |     | ○   |     |      |     | ○   |     |      | ○    | 単語やフレーズレベルであれば、会話を継続することができる。           | 自分の知識を使って、フレーズとフレーズをつなぎ合わせながら、コミュニケーションを継続できる。                        | その場の状況、聞き手の反応に応じて、自分の意見を話することができる。                                 |
| 書くこと              | 日常生活等の特定の話題について、英文を適切に書くことができる。   |      |     | ○   | ◎   |      |     | ○   | ◎   | ○    |      | 義務教育段階の単語や表現を用いて書くことができる。               | 義務教育及び高校 1 年次段階に習得した単語や表現を用いて、場面や状況に応じて適切に使い分けて書くことができる。              | 既習の定型表現を応用して、日常生活だけでなく、様々な内容について自分の意見や理由を加えて、書くことができる。             |
|                   | 必要な情報や自分の意見を伝えるための英文を適切に書くことができる。 | ○    | ◎   |     |     | ◎    | ○   |     |     |      | ◎    | 義務教育段階の単語や表現を用いて正しい英文を書くことができる。         | 義務教育及び高校 1 年次段階に習得した単語や文法を用いて正しい英文を書くことができる。                          | 既習の定型表現を応用して、必要な情報や自分の意見を相手に伝えるように書くことができる。                        |
| 聞くこと              | 日常生活に必要な英語を聞いて理解することができる。         | ○    |     | ○   |     | ○    |     |     | ○   |      |      | ゆっくりとしたスピードであれば、理解することができる。             | 義務教育段階の単語や表現であれば理解することができる。   | 高校 1 年次段階の語彙や表現を理解することができる。  |
|                   | 必要な情報を含んだ英語を聞いて理解することができる。        |      | ○   |     | ○   |      | ○   | ◎   |     | ○    | ○    | 義務教育段階の単語を聞いて理解することができる。                | 義務教育段階の単語で構成された文を聞いて理解することができる。                                       | まとまった英文を聞いて理解することができる。   |
| 読むこと              | 英語を読んで適切に理解することができる。              | ○    | ○   | ◎   |     | ○    | ○   |     |     | ◎    | ○    | 義務教育段階の単語や表現を読んで理解することができる。             | 高等学校 1 年次で習得されていることが望ましい英単語や定型表現の意味を理解し、概要や要点を把握することができる。             | 高等学校 2 年次で習得されていることが望ましい英単語や定型表現及びまとまった英文を読んで概要や要点を理解することができる。     |
|                   | 正確な発音やイントネーションで音読することができる。        |      |     |     | ○   |      |     | ○   | ○   |      |      | 義務教育段階の英単語を正確に発音することができる。               | 高等学校 1 年次で習得されていることが望ましい英単語や定型表現を場面に応じて、正確に発音することができる。                | 高等学校 2 年次で習得されていることが望ましい英単語や定型表現を場面に応じて、聞き手に意味内容が伝わるように音読することができる。 |
| 主な学習活動（協議，討論，発表等） |                                   | 協議   | 協議  | 協議  | 協議  | 発表   | 議論  | 協議  | 発表  | 協議   | 発表   |   |   |  |

| 意欲・態度，価値観・倫理観   | 教科目標   | 考え・基礎知識<br>(Ideas)                         | つながり<br>(Connections) | 応用・ひろがり<br>(Extensions)                  |
|---|--|--|-----------------------|--|
| 立場や考え方の違う人々を理解するとともに、相手を尊重しながら協同的に課題解決をすることができる。（E S D） | 英語の学習や実際の使用を通して、多様な意見や考えを受け止め、総合的・批判的に思考できる力を育成する。 | ・ペアやグループでの活動に参加できる。<br>・自分の考えを、英語で伝えようとする。 | ペアやグループで協力して課題を解決できる。 | 多面的に物事を捉え、新たな価値創造に向けて、コミュニケーションすることができる。 |